



令和の時代に 県政に！地域に！足跡を刻む！

令和初の元旦、学園都市の高塚山からご来光が例年以上に輝いて見えました。

皆様方が素晴らしい1年になるよう祈念いたしました。1月17日には阪神・淡路大震災から25年を迎えました。創造的復興の歩みを礎に、新しい兵庫づくりを展開しなければなりません。都心・三宮再整備や県庁舎建替をはじめ、12月定例県議会の一般質問で私が提言いたしました明石公園を候補地とする

2万人収容規模のアリーナの検討など、令和のシンボルとなるプロジェクトも見えてきました。費用対効果などしっかりとチェックし、次世代に負担ではなく、夢や希望を持てもらえるよう全力を尽くします。

5期目の当選時に約束した「県政に地域に 足跡を刻む」ことを一歩一歩前進させ、明るい未来が拓けるよう今年も全力投球いたします。
ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

第346回12月定例県議会で一般質問に立ちました。概要は2面に掲載しています。ご一読ください

文教常任委員会活動報告

文教常任委員会の閉会中の継続調査事件として12月17日に「私学教育の充実支援」「公立大学法人兵庫県立大学への支援及び県内大学との連携」「但馬地域における専門職大学設立準備の推進」、1月16日に「義務教育の推進」についてをテーマに開催されました。

政調会・新年度予算で活発質疑（1月8～10日）



令和2(2020)年度県予算の編成状況などについて各部局から説明を受ける政務調査会が1月8日から3日間にわたり実施されました。説明後、防災減災などの安全安心対策等について活発に質疑を交わしました。

ワールドマスターズゲームズ関西 2月からエントリー開始

いよいよ来年5月から始まるワールドマスターズゲームズ関西のエントリーが2月1日から始まります！概ね30歳以上なら予選なしで誰でも世界大会に出場できるチャンスです！私も何に出場しようかとワクワクしています。皆さんも是非エントリーして挑戦してみませんか？



震災から25年 経験、教訓を次世代に（1月17日）

令和最初の1月17日、阪神・淡路大震災から丸25年を迎えました。午前5時46分、東遊園地での1.17のつどいで黙祷、午後は秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご臨席された式典に参加し、犠牲になられた方々に哀悼の誠を捧げました。震災の経験が私の政治活動の原点です。内外からの多大な支援への感謝と、助け合い、支え合った絆の大切さを忘れることなく、この四半世紀歩んできました。初心を改めて胸に刻むとともに、令和の新時代・ポスト震災25年を担う次世代に経験、教訓を「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」決意を新たにしました。



地震発生時刻の5時46分、東遊園地の1.17のつどいで黙祷を捧げました

第346回12月定例県議会 一般質問に登壇 (12月10日)

サイクルツーリズムによる地域振興

石井 サイクルツーリズムは交流人口の拡大による地域創生につながる。ツール・ド・ひょうごや六甲山を活用したヒルクライムの実施などを提案してきたが、大鳴門橋の自転車道が完成すると、瀬戸内海を1周する「セトイチ」として、世界に誇れるサイクリングロードとなる可能性もある。

総合的な体制を構築し、サイクルツーリズムによる地域振興を図るべき。

井戸知事 自転車活用推進法に基づく県推進計画に五国の多彩な魅力を活かしたサイクルツーリズムを一つの柱に位置付ける。ツール・ド・ひょうごのような県内を回るようなサイクリングロードをベースとするルートができればと考えている。



アリーナ新設など明石公園リノベーション

石井 明石公園の老朽化が進むスポーツ施設の改修で、アリーナの新設を検討すべきではないか。公園内の史跡や既存のスポーツ施設との一体的な整備により、地域活性化につながるリノベーションの検討が求められる。

井戸知事 國際競技ができる2万人収容

アリーナが兵庫にない。明石公園での整備は有力な候補地。まず、整備・管理・運営の可能性なども探るサウンディング調査の実施など可能性を検討する。



競技スポーツ強化に向けた取り組み

石井 アスリートを支える基盤づくりとして科学的な視点での効果的なトレーニング等を取り入れるなど充実が必要である。

教育長 大規模なアリーナ、最先端のトレーニング施設等の国際基準に対応した施設が重要。その可能性を教育委員会としても検討する。

西神中央駅周辺のリノベーションに対する安全・安心の確保

石井 西区役所の駅周辺への移転やリノベーションの機を捉えて、狭隘化が進む神戸西警察署の整備促進についても検討し、安全・安心を確保すべき。

警察本部長 警察署の整備は未耐震や老朽化の状況などを踏まえ、優先順位を付けて計画的に整備する。



家族経営的な小規模林業への支援

石井 県内には家族経営的な小規模林業者も多い。林業の担い手として積極的な支援が必要。

農政環境部長 技術向上や施業条件の改善などを支援したいと考えている。このため、研修の実施や標準事業費の4割を補助する県独自の支援も行っていく。



石井 秀武 (いしい ひでたけ)

昭和41年4月15日生まれ B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学卒、サラリーマン生活を経て、阪神・淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選
平成19年・23年・27年・31年 再選
〔現在〕兵庫県議会ひょうご県民連合議員団 団長
兵庫県体育協会 評議員
兵庫県自転車競技連盟 会長 他
〔主な経歴〕関西広域連合議会 議員（2期）
兵庫県監査委員 兵庫県産業労働常任委員会 委員長
兵庫県農政環境常任委員会 委員長 他
〔趣味〕ドライブ 自転車 登山（日本100名山踏破）他

石井ひでたけ事務所

伊川谷事務所

〒651-2113
神戸市西区伊川谷町有瀬537-3
TEL/078-978-0667
E-mail:ishiihidetake@gmail.com

県政に対する相談・お問い合わせは石井ひでたけ事務所まで。必ずご氏名・ご連絡先をお知らせ下さい。

月曜県政相談会 (原則毎週月曜日開催AM10:00~12:00)
場所:伊川谷事務所

どんどん意見・要望をお寄せ下さい



玉津事務所

〒651-2133
神戸市西区枝吉1-215
TEL/078-920-2200



公務等で不在の場合は、ホームページがお越し下さい。
事務所で確認ができます。